

# 南町一丁目だより

発行日 平成28年12月15日  
発行者 南町一丁目自治会  
編集者 広報編集委員会  
電話 221-2728(谷中)

第26号

## 自治会長挨拶

去る10月8日(土)、9日(日)の両日におこなわれました「南町一丁目祭り」に際しましては、町内の皆様の多大なるご協力により盛大に行うことができました。

子供育成会員が年々減少傾向にあるなか、本年度は特に自治会や子供育成会OBの皆様の温かいご支援をいただきまして無事終了することができましたこと、厚く御礼申し上げます。

また、直近の事業といたしましては、12月25日(日)~30日(金)迄の期間、夜7時より「防犯パトロール」をおこないます。夜間お騒がせするかと思いますが、なにとぞご理解賜りますようお願いいたします。

(自治会長 根岸 貞夫)

## 南町一丁目祭り(前橋まつり協賛)特集



## 天気も味方に

今年も、南町一丁目祭りが無事に終わりました。私も、今回で3回目の実行委員長を務めさせていただきました。この3年間、事故や怪我等もなく無事に終えられたのも、各団体のかたがたのご支援ご協力のおかげだと思って感謝しております。

毎年のことですが、数ヶ月前から祭りの準備や子供たちの太鼓や笛の練習を始めてきて、祭りの数日前にはどうにか祭りらしくなってきました。

台風を心配していましたが、祭りの両日ともに、そんな心配はいらず、快晴に恵まれました。2日目は、朝方に雨が少し降りましたが、その後は快晴に恵まれ、子供たちが楽しみにしていた街にも行くことが出来ました。

実行委員長として多々至らないこともありましたが、お許し下さい。これからも、この素晴らしいお祭りが、末永く続くことを願います。ありがとうございました。

(南町一丁目祭り実行委員長／成年会会長 斎藤 武)

## 南町一丁目祭りに参加して

今年の南町一丁目祭りが事故も怪我もなく無事に終えることができましたことに、心より感謝申し上げます。9月から自治会、寿会、成年会の皆さんにご指導頂き、毎日夜遅くまでお囃子の練習を頑張ってきました。練習量は少なかったのですが、素晴らしい演奏ができたと思います。

今回は、育成会長として先頭を歩き、正面から子供達を見る事ができました。綱を引いているときは疲れた顔をしても、いざ山車に乗り太鼓の前に座ると顔つきも変わり凛々しく大人びて見えました。みんなカッコよかったです。子供達の成長を感じることのできる貴重な体験でした。

準備から片付けまでたくさんの方々にご協力頂き本当にありがとうございました。これからも南町一丁目祭りが末永く続きますよう、心よりお祈り申し上げます。

(子供育成会会長 西田 豊子)

## おはやしの笛

「おはやしの笛が吹けたら良いなあ」と思ったのは、今から5年前でした。「音が出せるように笛の角度と息の入れ方を工夫してみてください」とアドバイスを頂き、何とか音を出せるようになりました。つぎは、指づかいと音色を頑張ろうと、毎年挑戦はするのですが、おそらく腹式呼吸ができないようで、すぐに息が続かなくなってしまいます。そうすると、すぐに音色が乱れ、高い音が出なくなってしまいます。

育成会の子ども達も、笛はあこがれのようで、学年が上がり笛を頂いた子は音を出そうと一生懸命です。今年は、6年生の田辺創君が一番高い音を出せるようになり、「秋月さん、指はどうやって動かすのか教えてください」とたずねられました。その日と次の日でしょうか、一緒に練習をしました。3日目には、あっという間に上手になり、私はあっさり抜かされてしまう始末・・・。

来年こそは素敵な音色を響かせようと、我が家家の茶の間には、すぐに手の届く所に笛を置き、楽譜は見える所に貼ってあります。はてさて、私は有言実行できますでしょうか？

(子供育成会 秋月 幸子)

## お祭りを振り返って

「小学生のお兄ちゃんお姉ちゃんすごいね、格好いいね」と小さな体でお祭りの山車を見上げていた娘も、昨年、法被に袖を通し、今年は2度目のお祭りへの参加となりました。

昨年は、まだ不安そうに友達の手元を気にしながら叩いていた太鼓でしたが、今年は、しっかり正面を見つめ自信を持って演奏する姿に成長を感じ、逞しく思いました。同時に、指導して下さる方々の大きな支えを改めて感じました。地域の方々と繋がり、育てて頂ける環境にあることは、親子共にとても幸せなことだと感じます。

また、主人にとっても感じることの多い2日間となったようです。近所の子供たちや娘の同級生の顔と名前を覚え、友達と過ごす娘の様子を見る事ができる貴重な時間となりました。家族でたくさんお祭りの話をして、楽しく取り組むことができ、とても良い思い出が増えました。

お祭りの日の南町には、たくさんの笑顔が溢っていました。お囃子の音を聞き外へ出て笑顔を向けてくださる地域の方たち、友達と一つのことを成し遂げ笑顔で笑い合う子供たち、その子供たちの姿に笑顔になるたくさんの大人。とても温かい気持ちになり、参加できただけをうれしく思いました。日頃より南町を支えて下さっているすべての方々へ、感謝の気持ちでいっぱいです。

(子供育成会 加藤 志津香)

## 6年間やった前橋祭り

私は育成会に入って6年間お世話になりました。

最初に、太鼓をたたきました。集会所に入って初めて楽譜を見た時、「テやテン、ツ」と書いてありました。意味がわかりませんでした。でも、成年会の方々が親切に教えてくれたので、たたけるようになりました。3年生になり、鉦をたたくことになりました。6年生が楽譜を作ってくれて優しく教えてくれたので、できるようになりました。5年、6年と2年間、街中でたたくことができました。人がたくさんいて緊張したけど、ミスなくたたけました。とても楽しかったです。中学生になっても、山車を引いたり、お店の手伝いをしたいと思っています。

6年間、ありがとうございました。

(6年 西田 奈月)

## まえばしまつりの思いで

わたしは、まえばしまつりで、たのしかったことや、つかれたことが、二つあります。

一つ目のたのしかったことは、タイコをたたくことでした。みんなで心をひとつにすると、いいきもちになるのでたのしかったです。

二つ目は、町に行き学校の友だちにあったことです。みんなかわいくしてて、すごいと思いました。わたしも、おかあさんにキラキラのかざりをつけてもらって、うれしかったです。友だちと、しゃしんをとりました。いっしょにとれて、たのしかったです。

つぎに、つかれたことです。一つ目は、たくさんあるいたことです。でも、友だちと話をしたりしながらだったのでおもしろかったです。

二つ目は、毎日のれんしゅうです。外でのれんしゅうはすこしさむくてたいへんだったけれど、がんばりました。先生のおじさんたちがほめてくれるのでうれしかったです。

大きいおねえさんやおにいさんが上手にたたくのをみて、すごいなあとと思いました。わたしも、もっと練習して、上手になりたいです。かねをたたけるようになりたいです。らい年も、とってもたのしいおまつりになるといいなと思いました。 (2年 くわばら このか)



## はじめての前ばしまつり

南町にすんでから、はじめて前ばしまつりにさんかしました。南町には、だしがあって、まつりのときはそれにのってたいこをたたきます。そのためのれんしゅうがはじめました。

たいこはたたいたことがあっても、ばちをまわすのはやったことがなくて、ぜんぜんできませんでした。がくふも見ないとできませんでした。れんしゅうは十回くらいしかなかったけど、すこしずつたいこをたたけるようになって、ばちもまわせるようになりました。

前ばしまつりの本番では、南町からだしをひっぱって、ちよだ町というところまであるきました。とちゅうで、だしにのって、たいこをたたきました。どうろのまん中を歩くのも、だしにのっていどうするのも、はじめてだったのでたのしかったです。らい年は、もっと上手にたたけるようになって、また、前ばしまつりにさんかしたいです。 (2 年 田村 かずま)

## 交通事故多発地点 一中北道路が危険

群馬県警では、平成 25 年から平成 27 年中の交通人身事故のうち、同一地番で 9 件以上発生した場所をインターネットで公表し安全を促がしています。

3 年間で事故 11 件、南町一丁目 23 番 7 号の交差点。これは、刑務所北東の交差点。市内で指折りの、交通事故多発地点です。

日本では交通事故死者数に占める、歩行者と自転車利用者の割合が 4 割を超え、高い割合となっています。さらに、歩行中の交通事故死者の約 6 割が、自宅付近で被害に遭っています。

南町一丁目は三つの主要道路が通っています。平成大橋からの道路と、刑務所東の通り、そしてマルシェの通りです。危険地帯はその三つの主道路と、それが交わる交差点。南町一丁目の危険箇所は？ ① 刑務所北東の交差点。交差する道路が広いために、車はスピードを出し、歩行や自転車の姿が死角になる。② マルシェの通りは、一中、スーパー、スイミングスクールさらにその南に専門学校があり、車も人の通りも多い所です。この通りの、特に交差点での事故が多い。③ コングの角は要注意箇所です。二つの主線が交わる場所で、死亡事故もありました。④ 一中の北西の角。平成大橋の方からスピードを上げてくる車が多い。中には赤信号を無視して突進してくることもあるので注意が必要です。

交通安全協会南町支部に所属する南町一丁目交通安全委員は、年に 4 回、朝の通学、通勤時間帯に、これらの交差点に立ち、安全を見守っています。

(この記事は一部、県警のホームページを参照させていただきました。)



## 今年は「宇宙カード」元気にラジオ体操

今夏も、7月21日から29日まで、一中の校庭をお借りして、育成会主催の早朝ラジオ体操が行われました。今年は梅雨が長く、28日に梅雨明け、ラジオ体操最終日の29日から本格的な暑さになりました。期間中一日は雨で、比較的気温の低い夏休みの初めでした。

子供が25名から30名、保護者が15名ほど、それに一般の方が5、6人と、総計50名ほどが、早朝の鈍い光のなかで、元気にラジオ体操に励んでいました。

最終日には、文房具などのおみやげを貰い、子供たちの顔もほころんでいました。

子供たちの手にする出席カードのデザインは毎年代わり、今年は「宇宙カード」。かんぽ生命が提供し、ラジオ体操指導者講習会の席で配られます。出席カードには次の説明が記されています。

馴染みの「ラジオ体操」は、80年以上の歴史を持つ体操です。当社の起源である逓信省簡易保険局が1928年（昭和3年）に「国民保健体操」として制定し、日本放送協会のラジオ放送で広く普及しました。



最近は、夏休みのラジオ体操を経験したことがない子供が増えています。夏休みのラジオ体操は、学校が推進するものではなく、保護者や地域の有志によって運営されている「子ども会」（南町一丁目は「子供育成会」）が主催するもので、少子化に加え、子ども会に参加する子供（保護者）が少なくなっているからです。

早起きして、眠い目をこすりながら、ラジオ体操を行った子供の頃の思い出。夏バテ防止、夏を乗り切るには、とても大切な生活習慣です。また、母親の起きる時間を体感することで、母親への感謝の気持ちも新たになります。そんな貴重な体験を子供たちにうながすためにも、「夏休みのラジオ体操」は打って付け。子供たち、お父さん、お母さん、頑張れ！

## ボールはじく、心地よい音

9月11日(日)、秋雨前線の近づく曇り空の下、今年度第2回目の南部地区グラウンドゴルフ大会が、六ヶ町72名の選手を集め、南町公園で開かれました。8時半の集合時間には、あちこちでボールをたたく心地よい音が響き、試合開始前の練習に余念がありません。

準備体操の後、9時、いよいよ試合開始です。「ナイス・イン」、「惜しい」など、チームの別け隔てなく励ましの言葉が掛かり、会場は和やかな雰囲気で包まれました。

結果は、六供生川町Aチームが優勝。南町1丁目は、田島さん、遊佐さんがホールインワン賞を獲得し、健闘しました。



試合を終えて、ホッと爽やか

## 敬老会　あいにくの雨の中

9月19日(月) 敬老の日、接近する台風16号が秋雨前線を刺激し、連日の雨。前日、集会所の入り口に大きなブルーシートが張られ、広い受付場所が確保されました。

町内の75歳以上の方は120名。昨年、104名だったので一割がた増えた勘定です。小雨の降る中、31名の方が出席(スタッフの方を含めると52名の参加)。

自治会長の挨拶で「高齢者の生活の秘訣は「キヨウヨウ」と「キヨウイク」です。「教養」と「教育」？さにあらず、「今日、用がある」と「今日、行くところがある」の二つです。何も用事がなく、どこにも行かない毎日では張り合いません。是非心がけてみてください。」という話がありました。なるほど「用がある」「行くところがある」は、ボケないための頭の使い方としても最良。

会食後、景品いっぱいのbingoゲームなどで大いに盛り上がり、皆さん終始笑顔で半日を楽しんでいました。



## 支えあう、学校と地域 一中と南町一丁目

10月2日（日）早朝、たくさんの一中生の応援を得て、今年最後の南町公園清掃が行われました。50名を超える生徒が、刈った草を集めてはシートに載せ、運んで行きます。きびきびとした動作、清々しい掛け声・・・朝の公園がことさら輝いてみえました。



校舎新築中の一中では、校庭が手狭のため、生徒が授業に、部活動に南町公園を利用しています。他方、南町一丁目では、夏休みのラジオ体操を一中の校庭をお借りして行なったり、災害時の緊急避難場所として一中を指定しているなど、お互いに支え、支えられる間柄です。

先日（10／18）も、群馬テレビで、地域連携で行われる「南町公園清掃」や、地域を巡る「一中地区ウォークラリー」など、一中生の活動が紹介されていました。一中では「地域とともにある学校づくり」を教育方針として掲げ、地域との交流、友愛精神を育んでいるとのことです。

子どもたちにとって、「地域」は最も身近な「大人たち」。家庭の教育力の低下や、地域の人間関係の希薄化が指摘される昨今、みずみずしい感性の子どもたちが、さまざまな生き方を経た大人達の姿に触れ、交流することは大きな意義があるものと思います。

## 第1回桃井小地区市民運動会



10月23日（日）に第1回桃井小地区市民運動会が桃井小学校（旧中央小学校）で開催されました。昨年度までは桃井地区と中央地区とでそれぞれの地区市民運動会を実施していましたが、今年の4月に、桃井小学校と中央小学校とが統合されて、新しい桃井小学校になったことに合わせて、両地区的合同により、新しく「桃井小地区市民運動会」として開催しました。準備も順調に進み、晴天に恵まれた記念すべき第1回の市民運動会となりました。

## 描く、撮る、作る…創作は楽し

### 南一文化祭〈生涯学習作品展〉 盛況裡に

11月19日（土）、20日（日）、三年に一度の文化祭（生涯学習作品展）が、集会所を会場に行われました。前回（平成25年）を上回る約130点の出品があり、80名余の来場者の方の目を楽しませてくれました。

- ・色鉛筆画、水墨画、浮世絵、貼り絵、文化刺繍画、絵手紙、クロスステッチ、ちぎり絵、子供たちの絵（教育長賞受賞のものも）などの絵画
- ・前橋祭り、尾瀬ヶ原、滝、スカイツリーと屋形船、花電車（ハロウィーン飾りの上電）、「山車の生い立ち」などの写真
- ・書幅、漢詩書額、子供たちの習字などの書
- ・こけし（我が家のかけし展）
- ・手編みベスト、洋裁、エコバッグ、焼物、ジグソーパズル、手編み手袋、子供たちの工作、等々の手芸、工芸、陶芸品などなど

多種・多彩な作品に、「みんないろいろなことやっているんだなあ」、「こんな細かいものどうやって作るのかなあ」など、感想や賞賛の声が聞かれました。



## 第6回 町内組別対抗三世代交流グラウンドゴルフ大会

恒例となりました町内組別対抗三世代交流グラウンドゴルフ大会が12月11日（日）に開催されました。三世代と組別の交流を目的としたこの大会も今年で第6回を迎え、例年よりも日程が遅れ、肌寒さも感じられましたが、総勢36名の多くの参加者の熱気を感じた大会でした。今年から、町内グラウンドゴルフ部の方々によりコースレイアウトが見直され、難易度の多いコースが造られ、試合前の練習では、みんな真剣に今年は上位を狙うとばかりに、黙々とコースを読む姿が伺えました。特に団体の部優勝に関しては、各組が牽制しあう空気が感じられていたようでした。試合が始まれば、参加者がお互いにコースを読みながら教え合い、ベテラン経験者から子供達までが楽しく過ごすことが出来たと思います。中でも最高齢の佐藤さん（5組）が実力を発揮し個人優勝すれば、富田夫婦（1組）は奥さんのホールインワンに刺激を受け、ご主人までがホールインワンを出し、面目躍如で大会が終了しました。なお、大会結果については以下のとおりです（括弧内は打数）。

（スポーツ推進委員 吉尾 文仁）

順位	団体の部	個人の部（大人）	個人の部（子供）	ホールインワン賞
第1位	4組（138）	佐藤 修治（44）	富田 結衣（59）	藤井 久隆 1回
2	2組（143）	藤井 久隆（44）	西田 奈月（59）	富田 直樹 1回
3	3組（144）	加川 幸宏（46）	桑原 心香（68）	富田 亜紀 1回
4		土屋 洋（47）	加藤 穂花（78）	
5		福島 勝男（47）	秋月 紗美（78）	



## 上毛カルタ 「中山道しのぶ 安中杉並木」

### 安中杉並木と前橋南町

安中杉並木（中山道）と前橋とはどんな関係があるの？と思われる方も多いかもしれません。それもそのはず、前橋は中山道上にありません。しかし江戸期よりずっと以前、古代（飛鳥・奈良時代）に東山道という街道があり、その東山道が安中、高崎、前橋を結んでいました。中山道は江戸時代、その東山道を下敷きに、参勤交代の往来のため整備され、栄えた街道です。

東山道は、律令時代（700年頃）に整備された、畿内（奈良、京都）と各國にあった「国府」を結ぶ七道（当時の幹線道）の一つで、奈良を起点に内陸部を通り、群馬、栃木を経て奥州へたどる道でした。奈良、京都、滋賀、岐阜、長野、群馬、栃木、福島、宮城と通じていました。「国府」は今の県庁で、上野の国（群馬）では今の前橋市に、下野の国（栃木）では今の栃木市がありました。

東山道は、群馬県に入ると坂本（松井田）、安中、高崎、前橋、伊勢崎、太田（新田）に宿駅があり、そこを通って栃木へ抜けます。ところで、前橋のどこを通って伊勢崎へ向かっていたのでしょうか。

元総社（今の宮鍋神社の所）に国府があったので、まず高崎の倉賀野から、おそらく今のが前県道のあたりを通って元総社へ出、そこから伊勢崎へ向かいます。その道として考えられるのは、①今の国道17号から50号へと向かう道、②両毛線の通る道、③平成大橋から天川大島へ抜ける道、④南部大橋から天川大島へ抜ける道です（当時、利根川は現在より北側を流れていたので、渡河はずっと下の方になります）。

東山道は駅と駅の間を極力直線道路とし、道幅も12mの幅があったことから、非常時には短期間に大量の軍事力を移動することが可能な高速道路であったと云われています。前橋・伊勢崎間で最短の道は②で、「極力直線道路」となると、おそらく②か③か④の近くを通っていたものと考えられます。②③④は現在の南町、もしくは紅雲町を通ります。

東山道を通って巖島神社（紅雲町の人丸様）を訪ねる柿本人麻呂。人麻呂伝説には諸説がありますが、古代の大街道が現在の南町の辺りを通っていたことに思いをはせると、心が躍ります。

参考「資料で読みとく群馬の歴史」（編集：群馬県歴史教育者協議会 出版：山川出版社）

## ふれあい会食会 食べて、歌って、楽しく体操

第3回ふれあい会食会が12月10日（土）に集会所で行なわれました。「ふれあい会食会」とは、南部地区社会福祉協議会の呼びかけのもと、自治会単位で行われている、高齢者の食事を通しての交流事業で、今年が3回目。日頃どうしても家にいる時間が多く、人と接することが少なくなってしまいがち…。そんな中、一緒に食事をしながら、ゲームをしたり会話を通して、地域のきずなを深めようという行事です。



風の冷たい師走の一日でしたが、40名の方が参加。ピンシャン元気体操や合唱、社会福祉協議会の看護士さんのユーモアあふれる指導による健康体操などを行った後、昼食を囲んで歓談、皆さん楽しい半日を過ごしていました。

### 行事計画（平成28年12月～29年3月）

行 事 等		関 係 団 体
12月	ふれあい会食会（10日） 上毛かるた練習（13～22日） 「南町一丁目だより」発行（26号） 廃品回収（18日） 町内餅つき大会（18日） 生け花講習（生涯学習）（28日） 歳末防犯パトロール（25～30日）	児童民生委員、保健推進委員、寿会 育成会 編集委員 育成会、成年会 成年会、寿会、育成会 生涯学習奨励員 防犯委員
1月	南一いきいきサロン（10日） 上毛かるた練習（10～12日） 桃井地区上毛かるた大会（15日）	児童民生委員、保健推進委員、寿会 育成会 育成会、体育推進委員
2月	味噌造り講習会（生涯学習）（5日） 南一いきいきサロン（10日） 廃品回収（19日）	生涯学習奨励員 児童民生委員、保健推進委員、寿会 育成会、成年会
3月	南一いきいきサロン（10日） 桃井地区グラウンドゴルフ大会（26日）	児童民生委員、保健推進委員、寿会 体育推進委員、南一グラウンドゴルフクラブ、育成会

### 編集後記

「ふれあい会食会」で社会福祉協議会の看護士さんが、「ころばない」「（身体を）冷やさない」「無理をしない」の健康三ない運動を推奨していました。私も心がけたいと思います。

（編集委員／生涯学習奨励委員 福島 勝男）

Google ドライブの Web ホスティング機能が8月末に廃止されましたので、GitHub へ移行しました。

<http://www.ops.dti.ne.jp/~yanaka/3731/>

（編集委員 谷中 勝）